

## 新市域振興ビジョン新旧対照表

〈平成 30 年 2 月一部改訂〉

鹿野町総合支所

改定後	改訂前	摘要
<p><b>①地場産業の振興</b></p> <p>高齢化に伴う農業者の減少から耕作放棄地が増加するとともに、景気の低迷により地場産業の衰退が深刻化しています。商工業活性化のためには、人口減少に歯止めをかけることが必要ですが、その対策として企業誘致により就労の場を確保し、若者の県外・市街地への流出防止対策を講じることが重要です。</p> <p>また、基幹産業である<u>農業の振興は、「未来につなぐ鹿野町農業振興プラン」に基づき、そばの振興、生姜の生産拡大や新規就農者の確保を図るとともに、鹿野温泉の熱を活用した取り組みのほか、6次産業化や農商工連携による高付加価値化に向けた新たな取り組みの推進を図ります。</u></p> <p>有害鳥獣駆除により捕獲したイノシシの肉については、「シシボタンの会」との連携による消費拡大を図るとともに、平成 24 年度に整備された食鳥処理施設の有効活用を推進し、鹿野地鶏の生産拡大と普及を図っていくことが必要です。</p>	<p><b>①地場産業の振興</b></p> <p>高齢化に伴う農業者の減少から耕作放棄地が増加するとともに、景気の低迷により地場産業の衰退が深刻化しています。商工業活性化のためには、人口減少に歯止めをかけることが必要ですが、その対策として企業誘致により就労の場を確保し、若者の県外・市街地への流出防止対策を講じることが重要です。</p> <p>また、基幹産業である<u>農業は稲作が中心ですが、「未来につなぐ鹿野町農業振興プラン」に基づき、そばの振興、生姜の生産拡大や新規就農者の確保を図るとともに、鳥取市農業再生協議会の水田フル活用ビジョンで特産品目として位置づけた白ネギなどの野菜の作付拡大を進めます。</u></p> <p>有害鳥獣駆除により捕獲したイノシシの肉については、「シシボタンの会」との連携による消費拡大を図るとともに、平成 24 年度に整備された食鳥処理施設の有効活用を推進し、鹿野地鶏の生産拡大と普及を図っていくことが必要です。</p>	<p><b>第 10 次鳥取総合計画</b></p> <p><b>○地域経済の再生と産業の底上げ</b></p> <p><b>・農林水産業の振興</b></p> <p><b>(施策の基本的方向)</b></p> <p>農林水産物の 6 次産業化、産地化・特産品化を進め、生産拡大と全国への販路拡大を展開し、持続可能な農林水産業の実現をめざす。</p> <p>※加味した地域特性等</p> <p>地域固有の資源「温泉」熱の農業活用の可能性を検討する。</p>
<p><b>②文化・芸術の推進</b></p> <p>「鹿野町民音楽祭」、「鳥の演劇祭」などを始めとする文化芸術活動は、子どもから高齢者まで、幅広い世代間交流の中で活発な活動が行われています。</p>	<p><b>②文化・芸術の推進</b></p> <p>「鹿野町民音楽祭」、「鳥の演劇祭」などを始めとする文化芸術活動は、子どもから高齢者まで、幅広い世代間交流の中で活発な活動が行われています。</p> <p>また、「<u>鹿野笠</u>」、「<u>亀井踊り</u>」などの伝統工芸や</p>	<p>固有名詞を正確に記載</p>

<p>また、「鹿野すげ笠」、「亀井踊り」などの伝統工芸や文化の継承、新たに始まった若者によるアートを通したまちづくり活動などにより、文化・芸術の町としての知名度が高まっています。</p> <p>文化・芸術の町として更なるアピールをするとともに、年間を通したにぎわいを創出するため、若いアーティストが活動できる環境整備の支援を行うことが必要です。</p>	<p>文化の継承、新たに始まった若者によるアートを通したまちづくり活動などにより、文化・芸術の町としての知名度が高まっています。</p> <p>文化・芸術の町として更なるアピールをするとともに、年間を通したにぎわいを創出するため、若いアーティストが活動できる環境整備の支援を行うことが必要です。</p>	
<p><b>③交流人口の増加</b></p> <p>住民自らが地域の魅力づくりに積極的に参画するとともに、本市西部地域の観光情報発信拠点施設「鹿野往来交流館童里夢」の活用により、交流人口の増加に取り組んでいます。伸び悩んでいる状況にあります。</p> <p>このような中、多くのまちづくり活動組織との情報の共有を図り、効果的な情報発信や連携した取組によって、人が訪れる魅力あるまちを創出するとともに、国内観光客の誘客と併せ、日本文化体験の受入体制を整備し、海外観光客の誘客に取り組むことも必要です。</p> <p>このため、本市西部地域の宿泊拠点施設である「国民宿舎山紫苑」の施設改善等を検討するとともに、<u>観光資源として価値の高い温泉や歴史的景観、「山陰海岸ジオパーク※」を活かした広域型観光振興に「鳥取市西いなば地域振興協議会」等と連携して取り組み、地域の経済効果を高めていくことが重要です。</u></p>	<p><b>③交流人口の増加</b></p> <p>住民自らが地域の魅力づくりに積極的に参画するとともに、本市西部地域の観光情報発信拠点施設「鹿野往来交流館童里夢」の活用により、交流人口の増加に取り組んでいます。伸び悩んでいる状況にあります。</p> <p>このような中、多くのまちづくり活動組織との情報の共有を図り、効果的な情報発信や連携した取組によって、人が訪れる魅力あるまちを創出するとともに、国内観光客の誘客と併せ、日本文化体験の受入体制を整備し、海外観光客の誘客に取り組むことも必要です。</p> <p>このため、本市西部地域の宿泊拠点施設である「国民宿舎山紫苑」の施設改善等を検討するとともに、<u>観光資源として価値の高い神社・仏閣や「山陰海岸ジオパーク※」を活かした広域型観光振興に「鳥取市西いなば地域振興協議会」と連携して取り組み、地域の経済効果を高めていくことが重要です。</u></p>	<p>字句訂正</p> <p>※加味した地域特性等</p> <p>地域固有の資源「温泉」を明記する。また、新たに設立された観光DMO(麒麟のまち観光局)等との連携強化を図る。</p>

<p><b>④移住・定住の促進</b></p> <p>少子・高齢化に拍車がかかり、人口減少から集落機能の維持が危ぶまれる状況の中、<u>お試し定住体験施設の利活用の推進や、NPO法人「いんしゅう鹿野まちづくり協議会」との連携により、積極的にUJIターン*者の受け入れに取り組んでいます</u>が、中山間地域への定住には十分に結びついていません。</p> <p>年々増加傾向にある空き家の有効活用と支援策について、自治会など地域との情報共有を進め、若者の移住定住を促進し集落維持につなげることが重要です。</p>	<p><b>④移住・定住の促進</b></p> <p>少子・高齢化に拍車がかかり、人口減少から集落機能の維持が危ぶまれる状況の中、<u>お試し定住体験施設「しかの宿」、「鬼楽庵」の利活用の推進や、NPO法人「いんしゅう鹿野まちづくり協議会」との連携により、積極的にUJIターン*者の受け入れに取り組んでいます</u>が、中山間地域への定住には十分に結びついていません。</p> <p>年々増加傾向にある空き家の有効活用と支援策について、自治会など地域との情報共有を進め、若者の移住定住を促進し集落維持につなげることが重要です。</p>	<p>廃止施設を削除</p>
<p><b>⑤教育環境の充実</b></p> <p>小・中学校の児童・生徒数が年々減少し、鹿野中学校は本市の標準規模(6クラス)を下回る状況となっています。</p> <p>子どもたちや地域にとって教育がどうあるべきかを<u>地域ぐるみで総括的に検討し議論を重ね、本町としての方向性を出すことが必要です</u>。</p> <p><u>次世代の人材確保を見据えた特色ある教育を推進し、確かな学力とふるさとを思い志をもつ子どもたちを育てるとともに、学校・子どもたちと共に成長する魅力ある地域づくりを推進していくことが重要です</u>。</p>	<p><b>⑤教育環境の充実</b></p> <p>小・中学校の児童・生徒数が年々減少し、鹿野中学校は本市の標準規模(6クラス)を下回る状況となっています。</p> <p>子どもたちや本町にとって地域の教育がどうあるべきかを<u>総括的に検討する組織「鹿野地域の教育を考える会」で議論を重ねることにより、本町としての方向性を出すことが必要です</u>。また、<u>日常的に世代間交流を通じた学校づくりを行うことにより、安心して子育てができる環境の推進を図っていくことが重要です</u>。</p>	<p>第10次鳥取総合計画</p> <p>〇豊かな心をもった、たくましい人づくり</p> <p>・教育の充実・郷土愛の醸成 (施策の基本的方向)</p> <p>ふるさとを思い志をもつ子を育て、夢と希望に満ちた生きがいのある人生の礎を築く。</p> <p>※加味した地域特性等</p> <p>小中一貫校の検討議論の進捗状況と、義務教育学校開校後、地域ぐるみで学校を支えながら、確実に地域振興に繋いでいくことが重要である。</p>